



一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 平成27年度第5回理事会議事録

1. 日 時 : 2015年9月13日(日) 13:00~16:30

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル 6F会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 8名

高橋友一、今井俊二、北原達正、島谷太、中島晃芳、野村泰朗、平光宗基、丹羽尚子

(2) 委任状提出者 2名

松原仁、前田正久(事務局長)

(3) 理事以外出席者 4名

蟬正敏(監事)、金田忠裕(監事)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

4. 議 事

報告

(1) 2015世界大会報告

- 成績、ツアー体制など
- 2016以降の世界大会運営方針の動向

(2) JST上期報告

(3) 2016ジャパンオープン

- 会場視察(9/11)報告
- 各チャレンジでのルール設定進捗状況

報告と審議

(1) 年報

- 2014年報の進捗報告と残部の扱い(配布価格)の審議
- 2015年報と会報の準備態勢の報告

(2) 会員サービス

- HPの見直しの進捗状況と関連事項(ドメイン管理者)の審議
- 教材の準備状況報告と知的財産に関する扱いについて

審議

(1) 規程の整備

- 名称ロゴ使用申請
- ジャパンオープン開催要領
- 運営規程

(2) 理事担務

- 2016ジャパンオープン、2017世界大会LOC

(3) 議事録署名人の選定

(4) その他

5. 配付資料

資料1. 2015世界大会引率報告

資料2. JSTへの中間報告書類

資料3. 各チャレンジのルール設定の状況

資料4. 2015年度年報について ブロック/ノード大会開催予定/報告フォーム

資料5. 名称ロゴ申請書等雛形

資料6. ジャパンオープン開催要領

資料7. 運営規定 Ver. 4. 04 RCJJ組織図 (案) 2015-7-11after

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2015世界大会報告について

①2017世界大会名古屋開催が決定した報告があった後、野村理事より、資料1及び当日配布資料の報告および説明がなされた。

2015世界大会での経験から、今後世界大会への選抜にあたっては、世界大会のルールに準じて選抜すること、および改定の動向を踏まえて事前に国内大会での参加資格に配慮を促すことを確認した。

(3) JST上期報告について

①高橋代表理事及び浅沼事務局員より資料2に基づき、JSTへの中間報告の内訳について説明がなされた。また、今年度より中間報告と同時に会計検査が行われることになり、上期の金額について全て承認されたものではないので、検査後に変更が出る可能性がある旨報告があった。今井理事から9月にブロックに案内した普及活動助成の応募状況について報告があった。

(4) 2016ジャパンオープンについて

①高橋代表理事から、9/11に愛知工業大学で行われた会場視察について報告がなされた。2016年はメジャーとの合同開催となり、サッカー、レスキューチャレンジについてはメジャーと同じ会場で実施する方向で検討することになった。その中で検討事項として持ち帰った4点は、協議の結果以下のように開催委員会へ報告することとなった。1. ジュニアチームの登録は2016年2月19日までとする。2. 2015年メジャーのジャパンオープンで既に導入されているニコニコ動画は、ジュニアは見送ることとする。そのかわりコメントのないUstreamで配信するなど、その他の配信方法を今後検討依頼することになった。3. ジュニア理事会は3月25日午後早目の時間帯に行い、総会は同日18:30~開催することで調整する。4. ジュニアパーティーは26日18:30~19:30で開催することとする。

②平光理事より、資料3に基づき、各チャレンジでのルール設定の進捗状況について報告がなされた。各チャレンジの技術委員から正式な情報は上がっておらず、ジャパンオープンのルールはあくまでジャパンオープンのものであり、世界大会では変更される可能性もあることを周知することが必要との意見があった。

(5) 年報について

①2014年報残部扱いについて審議がなされ、1冊2500円(送料込)で販売する事し、広報担当の今井理事が公式HP、メールで告知を行う。その後、事務局で1人2冊まで先着申込順で受け付けることとなった。

②丹羽理事より、資料4に基づき2015年報作成について報告がなされた。年報と会報の区別についても議論がなされ、年報は12月の年度末終了後に作成を開始し、翌3月の総会にて収支決算が承認された後、組織としての会計報告等、データ中心の内容のものを発行する。会報は世界大会終了後に作成を開始し、各大会の報告等、大会参加者以外の会員の方々にも参考になる様な内容とし、2014年報同様冊子として製本することで合意された。

(6) 会員サービスについて

①浅沼事務局員より、今年度の会員証発注先業者の選定およびデザインについて報告がなされた。また会員申込についても現状報告がなされた。

②今井理事より、年内にHPを現在の静的なものから動的なものに変えていく意向である旨報告がなされた。また、同じく時期にドメイン管理者を野村理事からRCJJ事務局に変更することを確認された。

③高橋代表理事より教材の準備状況報告として2017名古屋世界大会に向け、現在名古屋市が準備中のリーフレットについてRCJJも協力して進めていく旨の報告があった。関連して、知的財産に

関する取扱いについて、今後RCCJJの教材作成等で使用したいものの権利を明確にし、担当理事が整備を行い、RCCJJが管理することが必要と提案がなされ、了承された。

(7) 規定の整備について

①資料5「名称ロゴ申請書等雛形」は、既に理事会メールにて審議している現行案を採用することとなった。

②資料6に基づき、ジャパンオープン開催要領について説明がなされ以下の事が確認された。

(ア) 9月を目途にチャレンジ技術委員会から技術的なルールは公開され、その後実行委員会で各チャレンジの参加人数等の運営上のルールを決定する。

(イ) 2015年世界大会後に、今後チームメンバー数の制限、メンバーの年齢制限などがRoboCup Federationで検討されていることを踏まえ、全てのチャレンジにおいて、メンバー数は2名以上6名以内、構成メンバーの年齢は全員が10歳以上とすることを推奨すると、ノード・ブロック参加者に告知する。またこれらの推奨事項は目安であり、世界大会に選抜する条件と異なる場合もあることも周知する。

(ウ) リチウム電池の扱いについて、今年度は技術委員から長所・短所を文章で開示してもらう。その資料を踏まえ、大会で使用するかどうかはノード・ブロック大会を含め、大会運営に責任にある大会実行委員会が判断するものとする。この事は、リチウム電池に限らずRCCJJが大会の安全な運営に関わると判断した項目については同じとする。来年度以降は前年度に講習会を開き、技術委員会で使うかどうか判断することの提案がなされた。

(エ) ジャパンオープンの海外チームの対応の中で、参加費の支払(送金方法)にも注意が必要との意見があった。

(イ) と (ウ) については、野村理事からブロック長、技術委員長に案内する事になった。

③平光理事より、資料7に基づき、運営規定Ver. 4. 04について説明がなされた。追加事項としてブロック・ノード名の変更及びブロック長変更についての記述を追加する案の提案がなされ、了承された。

(8) 理事担務について

①理事担務について議論がなされ、企画・競技・国際・運営(ブロック/ノード・広報・渉外・会員サービス)・経理という構成が提案された。1担当につき2名の理事が就くことを理想とし、各理事が希望担当を申し出、今後追加・調整していくこととなった。

②2016ジャパンオープンの実行委員長として愛知工業大学の水野氏とする事、2017世界大会に向けて、代表理事の元にワーキンググループを設置し、そのメンバーとして水野氏と国際レスキューチャレンジのOCの竹間氏をメンバーとする事が承認された。

(9) その他

①金田監事より、名古屋で世界大会が開催される2017年のジャパンオープン、世界大会の準備と重なり、業務が忙しくなるため、早目の開催地の決定及び準備が必要との意見が出された。

②次回理事会は11月7日(土) 13:00-16:00に大阪で開催することとなった。

(10) 議事録署名人の選任

閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、中島晃芳氏、及び野村泰朗氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成27年9月13日

議長 高橋 友一

議事録署名人 中島 晃芳

同 野村 泰朗

